

様式2（記載例）

〇〇年〇〇月〇〇日

高知県労働委員会会長 様

住所 高知県〇〇市〇〇町〇〇番地
名称 株式会社〇〇商会
代表者職・氏名 代表取締役 〇〇〇〇

答 弁 書

〇〇年(不)第〇〇号〇〇商会事件について、被申立人は下記のとおり答弁します。

記

1 請求する救済の内容に対する答弁

（申立人の請求する救済内容に理由がないと考えるとき。）

「本件申立ては棄却する。」との命令を求める。

（救済内容が労働委員会規則第33条第1項各号に定められている却下事由に該当すると考えるとき。）

「本件申立ては却下する。」との命令を求める。

2 不当労働行為を構成する具体的事実に対する答弁

（申立書に不当労働行為を構成する具体的事実として記載されている項目ごとに、その認否を記載してください。）

（申立人の主張する事実の存在を認めるとき。）

〇〇〇については認める。

（申立人の主張する事実の存在を否定するとき。）

〇〇〇については否認する。〇〇は〇〇したものであって、〇〇ではない。

（申立人の主張する事実を知らないとき。）

〇〇〇については知らない（不知）。

（被申立人の主張や否認の理由を具体的に記載してください。）

（注）この答弁書には必要に応じて次の書類を添付してください。

- 1 証拠及び証拠説明書、
- 2 代理人・補佐人申請書、
- 3 証人尋問申請書